

第6章 自然と調和する住みよいまち 第4節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)							
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	地域公共交通会議において、ところバスの利便性向上や新しい交通手段の導入について具体的な検討を進めているほか、三ヶ島地区等で地域住民との協働を行い、所沢市の地域公共交通の充実を目指した取り組みを堅実に進めている。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナーシップで目標を達成しよう								
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	995千円	598千円	①地域公共交通会議の開催 ②アドバイザーの活用 ③	市内の地域公共交通年間利用者数	市内の路線バス及び市内循環バス(ところバス)年間合計利用者数														
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	997千円				464千円													
	所沢市地域公共交通会議条例 所沢市地域公共交通通行人検討委員会設置要綱 所沢市地域公共交通アドバイザー設置要綱	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	1.00人				0.00人													
	地域公共交通検討事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	8,380千円	0.00人	実績	H30年度目標						H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	地域公共交通の利便性の向上を図るため、地域住民との協働を行った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
	期間	H26年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	1.60人	0.00人	①2回 ②4回 ③	R元年度目標						R1実績	10,744,000人	10,746,860人	10,754,000人	10,283,201人	新規コロナウィルスの影響で利用者数が減少したため。	利便性が高く効率的な公共交通を導入するため、地域住民と交通手段やコースの検討を進める。	地域公共交通の充実を図るため、地域住民と協働して検討を行った。
	13,299千円	臨時職員	0.00人	10,764,000人																	
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年ほぼ達成しており、バリアフリーの促進について一定の成果があげられていると考えている。今後については、継続事業及び未完了の項目について各事業者等に働きかけ、誰もが移動しやすいまちづくりの促進に努めたい。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを								
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	80千円	70千円	①特定事業のうち、継続中又は実施済の事業数 ②駅ボランティア体験会等参加者数 ③ノンステップバス導入率	継続中又は実施済の特定事業数の割合	「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づく特定事業の総数(154事業)に対する、継続中又は実施済の特定事業数の合計を成果指標としている。														
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	80千円				43千円													
	交通バリアフリー推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合				0.40人						0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	障害者団体からの要望により、新所沢駅西口から、「こどもと福祉の未来館」までの経路における、視覚障害者誘導用ブロックの再整備を行った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	高年齢者や障害者をはじめとした全ての人が、公共交通機関などを利用した移動にあたって、利便性及び安全性向上を促進させるために作成した「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定事業の進捗状況を管理し、市のHPで情報提供を行う。併せて、より質の高いバリアフリー社会の実現を目指し、「駅ボランティア事業」をはじめとするソフト施策を実施する。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	3,352千円	0.00人	①149事業 ②111人 ③90.5%	R元年度目標	R1実績						100%	97%	平成16年度からの事業継続により、ほとんどの項目で事業が実施されているが、施設管理者、周辺地権者及び道路状況等により、実施困難な場所が見られる。	「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づき、継続事業及び未完了の項目について、公共交通事業者・道路管理者等に、事業の推進・継続を働きかけ、その進捗状況を把握していく。また、その他の要望についてもその都度対応していく。	新たに新所沢駅西口からこどもと福祉の未来館までの経路に視覚障害者誘導用ブロックを整備した。			
	期間	H16年度～	0.25人	0.00人	2,078千円	0.00人	100%	R2年度目標							100%						
	交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						A	バス運行事業の目的の通り、公共施設利用者、交通不便地域の住民や高齢者・障害者など、多くの市民に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標とする。	R1年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
優先		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	137,839千円	136,211千円	①年間総利用者数 ②年間運行回数 ③特別乗車証利用者数(運転免許返納に伴う無料乗車券利用者を含む)	年間総利用者数	バス運行事業の目的の通り、公共施設利用者、交通不便地域の住民や高齢者・障害者など、多くの市民に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標とする。														
根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)	149,929千円				145,614千円													
市内循環バス(ところバス)運行事業		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合				1.25人	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析					バス路線が整備されていない地域の住民や高齢者・障害者等の身近な交通手段として定着しつつある。しかし一方で、運行本数や運行距離といった利便性の面で課題がある。現在の事業規模を維持しつつ市民の利便性向上を図るよう運行の改善、効率化を目指していく。	とところバスの抜本的見直しに向け、コース及び運賃変更等の方向性を示した。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
市民の公共施設利用の利便性向上、市内の交通不便地域の解消、及び高齢者・障害者をはじめとする市民の交通の利便性を図ることを目的とし、市内の4路線6コースにおいて、1日計54便のバスを運行している。		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	10,475千円	0.00人	①390,595人 ②19,440便 ③276,881人	R元年度目標	R1実績	378,000人	396,626人	383,000人	390,595人	目標達成済					前年度に検討したことを受け、今後、「所沢市地域公共交通会議」に提案するなど、抜本的な見直しに向けた準備作業を進める。	バスを利用いただくことに伴い、マイカーの利用抑制による温室効果ガスの排出削減に貢献した。		
期間		平成10年度～	1.50人	0.00人	12,468千円	0.00人	388,000人	R2年度目標		388,000人											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			合計	投入コスト			活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額			項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	平成28年度に出された交通政策審議会答申をもとに、光が丘から東所沢駅までの延伸を「一体整備」として進めていくため、埼玉県と東京都に対する要望活動を行うとともに、課題整理のために勉強会を実施した。引き続き、進捗協議会と連携を図り、課題解決に向けた取り組みを行っている。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	337千円	334千円												
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			①会議の開催	延伸距離(光が丘駅～東所沢駅)	光が丘駅から東所沢駅までを延伸するため、延伸する距離							協議会として今後の取り組みの方向性についての検討を進めた。
		-	36千円	34千円			②要望活動									
		都市高速鉄道12号線導入促進事業	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		東武東上線と西武池袋線に挟まれた鉄道不便地域の解消を目的として、練馬区、新座市、清瀬市、所沢市で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(以下「協議会」という)」を開催し、また延伸促進の早期実現に向け、東京都及び埼玉県へ要望活動を実施する。	0.31人 非常勤特別職	0.00人		12.7km		0km								どのように貢献したか
	期間	H5年度～	2,598千円	臨時職員		0.00人	R元年度目標	R1実績				輸送力向上に向けた検討を行った。				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①5回	12.7km	0km	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。							
			0.26人 非常勤特別職	0.00人		②2回	R2年度目標									
			2,161千円	臨時職員		0.00人	12.7km									
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額			項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和元年度に実施した工事内容(ホーム仮設工、補強工)について、補助金を交付した。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円												
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			①整備したホーム数	工事の進捗率	令和元年・2年度の2か年で実施する工事内容に応じた進捗率							工事着工にあたり、所沢駅バリアフリー化整備事業協議会(構成:西武鉄道株式会社、関東運輸局、所沢市)においてパブリックコメントを実施した。
		移動等円滑化の促進に関する基本方針(国)埼玉県鉄道駅ホームドア設置促進事業補助金交付要綱所沢市鉄道駅ホームドア整備事業費補助金交付要綱	33,333千円	33,333千円			②着手した工事内容									
		事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		鉄道駅のバリアフリー化の推進及び利用者の安全確保を目的として、鉄道事業者(西武鉄道株式会社)が実施する所沢駅ホームドア設置に係る整備事業費の一部について、補助金を交付する。	0.00人 非常勤特別職	0.00人			100.0%									どのように貢献したか
	期間	R1～	0千円	臨時職員		0.00人	R元年度目標	R1実績	目標達成済			令和2年度中の完成に向けて、西武鉄道株式会社と調整しながら進めていく。				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①0線	6.1%	6.1%				鉄道駅の安全性向上を図った。				
			1.15人 非常勤特別職	0.00人		②ホーム仮設設置工事、ホーム補強工事	R2年度目標									
			9,559千円	臨時職員		0.00人	100.0%									
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額			項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和元年度中に、自由通路等整備の方向で鉄道事業者との基本協定を締結する予定だったが、整備方針の変更を受け、次年度も継続して協議することとなった。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	48,614千円	46,287千円												
		根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			①事業に係る整備面積	事業に係る整備面積	西所沢駅西口開設の早期実現に向け、今後、各整備項目についての整備が必要となることから、対象となる工事等の面積を成果指標としている。							整備方針が変更となったことに伴い、地元自治会長等に対し、その旨の説明を行った。引き続き、西口開設に関する基本協定の早期締結に向け、鉄道事業者との協議を行った。
		-	41千円	3千円			②鉄道事業者交渉回数									
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		地元自治会等からの請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、西所沢駅利用者の利便性向上及び安全性確保を目的として取り組んでいる。令和元年度は、東西自由通路等を整備する方向で鉄道事業者と基本協定を締結する予定だったが、当初の想定よりも整備費及び期間が増大する見込みとなったことから、西口改札口を開設する方向に変更となった。現在、改めて基本協定の早期締結に向け、鉄道事業者との協議を継続している。	1.80人 非常勤特別職	0.00人			551.10㎡	551.10㎡								どのように貢献したか
	期間	H17年度～	15,084千円	臨時職員		0.00人	R元年度目標	R1実績	目標達成済			鉄道事業者との協議において、駅舎等整備の方向性や西口開設後の安全対策等が課題となっている。今後、さらに具体的な協議を行い、早期に基本協定を締結し、設計、整備等に向け取り組む。				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①551.10㎡	551.10㎡	551.10㎡				駅及び周辺施設等を安全に利用していただくため、西口開設に関する協定締結に向けた協議を行った。				
			1.82人 非常勤特別職	0.00人		②56回	R2年度目標									
			15,128千円	臨時職員		0.00人	551.10㎡									